

新しい風がまた一つ・・・(吹奏楽部・合唱部・放送委員会)

吹奏楽部・合唱部が、いわき芸術文化交流館アリオスから、音楽の新しい風を吹かせました。

6月12日(日)、第1回吹奏楽部定期演奏会が行われました。  
「湯高サウンド」に磨きをかけた、「いわき湯高サウンド」の幕開けです。

定期演奏会の開催に当たっては、感染状況を踏まえ、全面中止か全面開催かという二者択一ではなく、感染拡大防止対策を講じながら、実施可能な企画内容や運営方法などを検討・準備してまいりました。

本校は、コロナ禍において学習活動を止めない「いわき湯本モデルづくり」に取り組んでおります。

「常磐の丘陵(ときおわのおか)・・・」

6月17日(金)、県高校総合文化祭「音楽部門」・県高校音楽学習発表会が行われ、本校舎・遠野校舎の合唱部が心をつにし、力を合わせ、いわき湯本高校の校歌を歌い上げました。ピアノ伴奏は校歌作曲者(本校舎の音楽教諭)でした。新しい歴史の1ページが刻まれました。

前日の16日(木)には、吹奏楽部が校歌を演奏しております。



↑吹奏楽部と合唱部は、理科棟・視聴覚棟や北棟で練習しています

放送委員会が、さはこの丘から、新しい風を吹かせました。  
6月17日（金）、お昼休みのDJに新たなメンバーが登場。



学校づくりは自分づくり。  
さあ、ともに行こう。輝く未来に向かって、頑張れ、いわき湯高生。